

令和2年度第1回愛西市第8期介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定委員会
会議録（概要）

会議名称	愛西市8期介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定委員会
開催日時	令和2年8月6日（木） 午後1時30分から午後3時まで
開催場所	愛西市役所南館会議室1-3・1-4
出席委員	委員長：上 敏明 副委員長：内匠 孝 委員：原田健三、横井三千雄、平井正、鷺野明美、大原好夫、梅木芳惠、板谷一恵、藤澤恵美、加藤さゆみ、岡本敏秋、中村文子
欠席委員	安井久 伊藤弘和
事務局	保険福祉部長 近藤幸敏、保険福祉部参事 兼子利雄 高齢福祉課長 井戸田悦孝 高齢福祉課 八木久美子、藤本貴志、八木麻衣、渡部宏一
協議事項等	議題 （1）第8期介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定のためのアンケート調査の概要及び日常生活圏域別地域分析について ①愛西市第8期介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定のための調査の概要及び日常生活圏域別分析について ②愛西市における高齢者・介護サービスの利用状況 （2）愛西市第8期介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定のスケジュール等について
公開/非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴人	0人
会議資料	・次第 ・愛西市第8期介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定委員会名簿 ・愛西市第8期介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定のための調査の概要及び日常生活圏域別分析について（資料1-1） ・愛西市における高齢者・介護サービスの利用状況（資料1-2） ・愛西市第8期介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定について（資料2）

審 議 経 過

発言者	内容（概要）
	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・委員会開催のためのコロナウイルス感染症対策の説明 ・委員会の成立の報告 ・コロナウイルス感染症対策による傍聴人の定員縮小の説明 ・委員長あいさつ
委員長	<p>それでは、お手元の会議次第により、議事を進行させていただきます。</p> <p>議題（１）①愛西市第８期介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定のための調査の概要及び日常生活圏域別分析について②愛西市における高齢者・介護サービスの利用状況を議題といたします。事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、お手元の「資料１－１」「資料１－２」をご覧ください。</p> <p>内容につきましては、第８期介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定を委託しておりますアシスト株式会社と高齢福祉課の担当から説明します。</p> <p>（資料１－１及び資料１－２に基づき、事務局より説明）</p>
委員長	<p>ただいま、事務局から説明がありました。ご質問・ご意見がありましたらお願いします。一言で言い表すと、愛西市の介護保険の状況というのはどうなのですか。</p>
事務局	<p>介護保険の状況についてですが、介護予防日常生活圏域ニーズ調査については、一般の高齢者の方から回答をいただいている結果になりますが、リスクの該当状況について一つ一つご説明をさせていただきました。基本的に他の自治体と比べても、リスクの該当状況については比較的安く、愛西市につきましてはリスク該当者が比較的少なく比較的元気な高齢者が多いことがアンケートから見て取れます。</p>
委員長	<p>介護する人材の確保については頭を悩ますことであると思われませんが、それに対して愛西市はどうですか。</p>
事務局	<p>今回は回答結果についてのご報告となりますので、今の状況や総合的に分析してお示ししなければならないと考えています。</p>
委 員	<p>アンケートの回収率は少ないのではないかと思います。また、ちょっと認知が入っている方が果たしてこれだけのアンケートを答えられたのかどうか、例えばうちの人が代わりに書いたとしても、年が来れば回答しにくい。年齢が上がれば上がるほどいろいろなデータが悪くなるのは、これは当然だと思います。</p>
委 員	<p>第８期のアンケート結果ですけれども、第７期も当然あったはずなので、それと比較して特段割合が変わってきた、ここが気になったというところがあれば教えていただきたいです。</p> <p>説明を受けて、旧町村との地域の利便性との関係が非常に環境面の問題が結構</p>

	<p>強いのもあるかなと。外出との関係が結構出てくるのかなという感じを受けたり、やはり全体的に調査項目で言うと、今のお話の通り幅広い知識を理解して答えるものが結構あるので、そういう意味での介護保険制度そのものや高齢者施策等の理解が、なかなか浸透していないのかなと思っています。</p>
委員	<p>この調査ですけれども、既に実施済みということで、確か私の記憶では、この8期の介護保険事業計画のアンケートをするために、我々に対する事前の意見徴収があったように思うのですがそうだったでしょうか。</p> <p>今回、冊子一冊分の結果から、アシストさんが特に私達にお伝えしたい内容を、調査の傾向が分かるように説明して下さったという、そういう理解でよろしいでしょうか。そのような中で、どうしてこのような項目を選び出して伝えて下さったかという、事業計画を立てるために全体の傾向を示していただいたということでしょうか。</p>
事務局	<p>はじめに、介護予防日常生活圏域ニーズ調査の趣旨としまして、要介護状態になる前の高齢者のリスク状況がどのような状態にあるのか、そして地域別に見てどの地区が他と比べて高いのかどうか、地域課題を明らかにするというのがこの調査の趣旨になります。その趣旨に沿って見解をさせていただきました。圏域別の状況や年齢別の階級の状況などを一つ一つ説明をしたのはそのような意図があって説明をさせていただきました。</p>
委員	<p>愛西市の皆さんがこういうお考えでこういう生活をしていらっしゃるということがアンケート調査結果で分かったわけですね。その中で私が思ったのは、愛西市のお年寄り是非常に頑張っていると思います。そして、家族と暮らしている方が多いので、自分でやれるけれど家族にやってもらっている方がたくさんいらっしゃいます。調査の中に「あなたは誰かに何かをして差し上げることが出来ますか」という項目がありますが、こういうことは私は出来ますというお答えが非常によく出ています。ですから、そういう意味では愛西市のお年寄りは捨てたものではございませんと言いたいです。</p> <p>また、口腔ケアはいい数字が出ておりますので、この辺のことをしっかりと8期の計画に出していただきたいです。</p>
委員	<p>地域の特性があると思いますけれども、愛西市は家を出るとすぐ傍に店があるわけでもないですし、公共交通機関が発達しているわけでもないという状況がありまして、その中でこちらのアンケートを見させていただきますと、外出の足に困っていらっしゃる方が多いです。介護保険ではなかなか網羅出来ないような、例えばゴミ出しや買い物、電球の交換や喫茶店に一人で行くなど、そういうことで困っておられるような意見をちょこちょこ見られます。介護保険や高齢者福祉の事業計画の中で、今ある制度では対応出来ないニーズを、どのようにしていけばいいのか考えていく必要があるかと思います。具体的には、「やってもいいよ」という高齢者の方達がおられますので、そういう方達がやってほしいという高齢者の方達にサービスを提供出来るようなマッチング、仕組み</p>

	作りをしていく。そういったことが、介護予防や社会参加に繋がってくると思います。そのような仕組み作りが必要だということを、これらのアンケート結果から感じました。
委員	資料1-1、11ページのリスク該当状況で、全体平均で27.9%が転倒リスクの該当者になっていますが、この27.9%というのは全国平均ということではありませんよね。全体平均というのは、男女を合わせた平均ということですか。
事務局	愛西市における全体の平均ということになります。
副委員長	このアンケートというのはいいことだと思います。アンケートをやったということは該当している人がいるということですよ。そういう人達をインタビューしてどういう生活を送っているのか、どういうリズムでやっているのか、そういうことを逆に調べて見本みたいなもの、例えばAさんは6時に起きてラジオ体操をしてなど、そういうこともあるとよいと思いました。このような例により要支援の方はもう少し動いたり、お年寄りに働き甲斐や生き甲斐など希望を与えてあげるのも一つのやり方ではないかなと思いました。 口腔ケアがいいと言うけれど誤嚥性肺炎で亡くなる人というのは、65歳以上で第3位です。肺炎は予防出来ると思います。歯医者の方から言いますけれども、奥歯が無くなると転倒しやすいです。認知も奥歯が無いとよく噛まないから脳血流が悪くなります。奥歯や歯があると血流が良くなりますから、かむことで認知症の予防になります。 このデータをどう生かすのかを今後検討する必要があります。
委員	介護予防の観点で、例えば運動機能や閉じこもり、転倒、栄養など、7つ項目が入っておりまして、調査項目を見ておきますと多くが客観的で、転んだことがあるかないか、体重が減ったかどうかなど、あったかなかったかという客観的な項目で作られています。この中の認知症と鬱のところ、物忘れが多いと感じるかどうか、その方の主観によって回答されているところがあります。1～7の項目の中でリスクが高いとされているのが、資料1-1、17ページにある認知症40.9%、それから19ページにあるうつで39.2%です。この、うつのところで、気分が沈んだりすることがあったかなかったか、ある意味主観も含めた客観的な項目でされている中で高い数字になっております。これは注目すべき数字ではないかと思いました。今後計画を立てる時にはもう少し注意して、アンケート結果の中身をしっかりと見ながら、本当にリスクが高いのか、設問の仕方によってそういう風に見えるのか、きちんと見ていく必要があるかなと思いました。
委員	資料1-2について、高齢化率は高いけれども介護の認定率は低いから、平たく言うと元気なお年寄りが多いという解釈でいいですか。
事務局	そのように推測されます。
委員長	他にご意見がないようですので、続きまして、議題(2)「愛西市第8期介護保

	<p>険事業計画・高齢者福祉計画策定のスケジュール等について」に移ります。事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、お手元の「資料2」をご覧ください。内容につきましては、高齢福祉課より説明します。</p> <p>(資料2に基づき、事務局より説明)</p>
副委員長	<p>専門部会というのは、市の職員だけが集って開催するのですか。</p>
事務局	<p>想定されるのは、市の職員及びシルバー人材センターや社会福祉協議会の現場の方にも前回はお声かけさせていただいた経緯がございます。人選については事務局で検討したいと思っておりますので、よろしくお願いします。</p>
委員長	<p>他に意見もありませんのでこれで本日の議題を終了いたします。</p>